

『研究室でちょっと一息』 (1)

~ 研究室にある廃材から Art を作ろう ~

“ 先の折れたパストツールピペットからオイルワンドを作る ”



用意するもの

- ・ パストツールピペット (先の割れた物など)
- ・ ガスバーナー
- ・ ピンセット(2本)
- ・ 小さい薬サジ。
- ・ 50~60%グリセロール (約 5ml)
- ・ ローディングダイ (約 5ul)
- ・ ビーズ、スパンコール、アルミホイル,etc
- ・ 2.5ml シリンジと、20 ゲージの針

作り方

1) グリセロールにローディングダイを入れ色付ける。(透き通る水色くらいが best)

2) パストツールピペットをガスバーナーで熱し中
がつぶれない程度に変形させる。

大体 3~4 分熱していると、柔らかくなる。

(パストツールピペットの種類によって、熱伝導率が違うので、時間はまちまち。)



3) パストツールピペットを変形し終わったらパストツールの上の方の口から、ビーズ、スパンコールアルミホイルの小さくちぎったものを入れる。

(この時あんまり、パストツールを変形させ過ぎてしまうと、ビーズとかが入らないので注意。ビーズは大腸菌プレート用のガラスビーズなどでも OK!)



4) 中身を入れ終わったら、パストツールの丈夫をあぶり、蓋をする為にガラスを
引き、ちぎる。

パストツールの上部 →

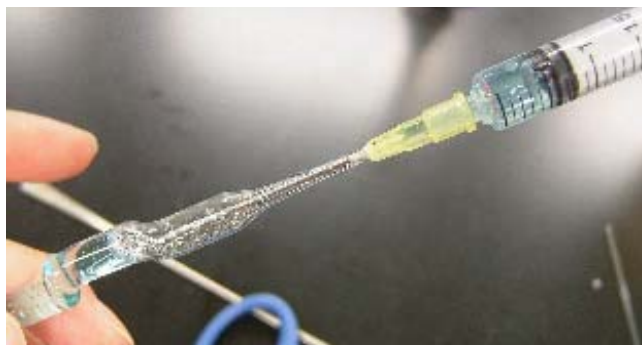


バーナーで熱し先を引き延ばしちぎって丸める。

5) ガラスが体温くらいまで冷めるのを待つ。

その後、パストツールの先端部分を 1~1.5cm 残して切り、グリセロールを針付きシリンジで 2ml 取り、パストツールの先端から溶剤をゆっくり注入する。

切った後の先端

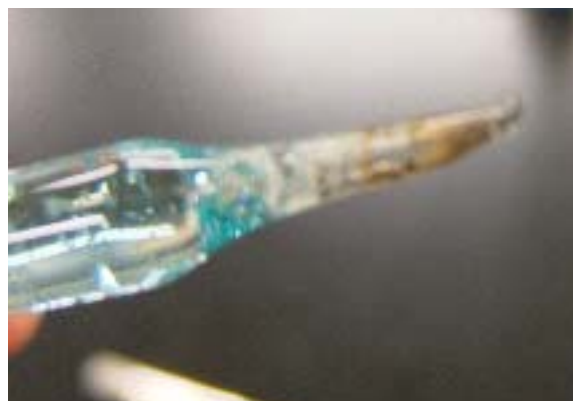


6) グリセロールは切片部より、1~1.5cm の所まで注入する。(それ以上は危険)

7) 切片部を熱し、先端部を引きちぎる事で封をする。

ここが一番難しい。液体をなるべく熱しないように、局部的に熱し、先端のガラスだけを引く様にする。

熱している最中に『ブツッ』という音がすると、密封状態だったのに、穴が空いたという事が分かるので、もう一度引き直して封をする事。



8) 先端を上にして十分に冷えるまで試験官立てなどにたてて待つ。

(先端部は熱いので、中の溶液が触れると割れる危険性があるため)

9) 周りについたゴミやグリセロールをふき取り完成!!!

